

ふれあいバスの通勤・通学対応実証実験について（津島駅～老松住宅線）

1 目的

- 当市の人口動態の特徴として、若年層が名古屋市に転出する傾向があり、通勤・通学が不便であることも要因の一つとして考えられる。
- また、令和6年度に実施した巡回バスにおける通勤・通学時の運行等に関する市民、市内企業、市内高校生に対するアンケート調査において、通勤・通学時の巡回バスの運行について、一定のニーズがあった。
- 以上のことから、巡回バスの通勤・通学対応の実証実験を実施し、今後のバスの見直しにおけるダイヤ・ルートの参考とする。

2 実証実験の概要について

- (1) 運行事業者 名鉄バス株式会社
- (2) 路線名 津島市コミュニティバス 津島駅～老松住宅線
- (3) 実施期間 令和7年11月4日（火）から令和7年12月26日（金）まで
（土・日曜日、祝日を除く）
- (4) 運行形態 道路運送法第4条許可での運行（実証運行）
- (5) 運行台数 1台（ポンチョ（31人乗り））
- (6) 運行系統 （月～金曜日朝便）津島駅～老松住宅～津島駅（右回り）
（月～金曜日夕方便）津島駅～老松住宅～津島駅（左回り）
- (7) キロ程 津島駅－老松住宅－津島駅間：朝便 7.5 km（1、2便目）、10.6 km（3便目）
夕方便 8.4 km
- (8) 運行便数 （月～金曜日朝便）6時台：1便 7時台：2便
（月～金曜日夕方便）17時台：2便 18時台：1便 19時台：1便
- (9) ルート図及び運転時刻表【資料1-2】
「通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 ルート図及び時刻表」のとおり

3 停留所設定について

- ①朝便の停留所については、以下のとおり。
 - ・（1便目・2便目）「津島駅」→「老松住宅」→「西地域防災コミュニティセンター」→「津島神社南」→「寿町」→「津島郵便局」→「津島駅」
 - ・（3便目）「津島駅」→「老松住宅」→「西地域防災コミュニティセンター」→「津島神社南」→「寿町」→「津島郵便局」→「西愛宕町1丁目」→「津島市民病院」→「津島駅」
- ②夕方便の停留所については、以下のとおり。
 - 「津島駅」→「津島郵便局」→「寿町」→「西地域防災コミュニティセンター」→「津島神社南」→「老松住宅」→「津島駅」
- ③朝便の停留所のうち、「津島駅」、「老松住宅」、「津島神社南」、「西愛宕町1丁目」、「津島市民病院」については、津島市コミュニティバスAコースの停留所と同じ。
- ④夕方便の停留所のうち、「老松住宅」、「津島神社南」、「津島郵便局」については、津島

市コミュニティバスAコースの停留所と同じ。

⑤新設となる停留所については、以下のとおり。【資料1-3】

- ・朝便は右回りとなるため、津島市コミュニティバスAコースの停留所である「津島郵便局」の対面付近に停留所を新設
- ・寿町付近に「寿町」停留所を朝便・夕方便用それぞれを新設
- ・西地域防災コミュニティセンター内に「西地域防災コミュニティセンター」停留所を新設

※ 停留所の位置は、「通勤・通学対応実証実験 津島駅～老松住宅線 ルート図及び時刻表」を参照

4 運賃設定について

運賃は、現在の津島市コミュニティバスの運賃設定を適用。なお、今回の実証実験の期間に限り使用できる定期券を設定予定。(デジタルチケットとしての販売)

小学生以下（全区間）	無 料	
中学生以上（全区間）	1 乗車	1 0 0 円
実証実験期間通学定期（全区間）	3, 0 0 0 円	
実証実験期間定期（全区間）	4, 0 0 0 円	